

第11回北和会ソフトボール大会 ロックフィールダース2年目の挑戦は...



◇いよいよ開幕！北和会ソフトボール大会

5月23日土曜日、不安定な天気が続いていた前日までとは一変、北和会大会当日は天候にも恵まれ、絶好のソフトボール日和となりました。昨年は準優勝、今年こそ優勝を目指すロックフィールダース。果たして、その戦いの結果は…!? (発行が遅くなり、申し訳ありません・・・)

◆第1試合◆

ロックフィールダース 22-2 富国物産

組合せ抽選会で高野キャプテン(長野営業)が抜群のクジ運を見せ、初戦はトーナメント上の2回戦からスタート。対戦相手は2年前の同大会で初戦を戦い、惜敗した富国物産チーム。1回表、課題の立ち上がりルーキー大日方選手(長野工事部)が無難に切り抜けると、その裏のフィールダースは3つの四球で満塁のチャンスを作ると、本間選手(松本営業)のタイムリー2ベース、ルーキー宇田川選手(松本工事部)のホームランなどで5点を先制する。さらに2回裏には、木藤選手(松本営業)、ルーキー金原選手(長野営業)、本間選手の3者連続ホームランや、宇田川選手のこの日2本目のホームランなどで一挙に17点を奪う大爆発を見せる。守りの面でも堅実な守備を見せ、最終回に2点を失ったものの、まずは無事に初戦を突破することができた。

OPick Up Player



◆豪快弾！新星・宇田川選手



◆こちらも豪快！金原選手

OPick Up Player



◆いぶし銀の清水選手(左)とパワフルな丸山選手(右)



◆満塁弾の山際選手(左)と投打に全力・大日方選手(右)

◆第2試合◆

ロックフィールダース 20-11 トライアン

第2試合はトライアンチームとの対戦となった。初回の立ち上がり、大日方選手が2アウトから連打を浴び、トライアンチームに4点を先制されてしまう。反撃したいフィールダース打線はその裏、1番相澤選手(会場設備)の好走塁と清水選手(上田営業)のヒットでチャンスを作ると、木藤選手の犠牲フライと宇田川選手のタイムリー3ベースで2点を返す。2回表に3点を失い、点差を5点に拡げられてしまうが、ルーキー丸山選手(松本工事部)のホームランや宇田川選手の2打席連続タイムリーなどで1点差に詰め寄せると、本間選手が2点タイムリーを放ち逆転に成功する。その後、さらに丸山選手、大日方選手、相澤選手のタイムリーが飛び出しリードを4点に拡げる。このまま逃げ切れるかと思った3回の表、大日方選手が2本のホームランなどで同点に追いつかれてしまう。負けられないフィールダースは連打でチャンスを作り、宇田川選手のタイムリーで再び勝ち越し、さらに満塁のチャンスから山際選手(新潟営業)の満塁ホームラン、大日方選手の2ランホームランなどで9点を奪って勝利を収め、準決勝へと駒を進めた。

◆準決勝◆

ロックフィールダーズ 15-20 本久

準決勝は昨年決勝戦を戦い、惜しくも敗れた本久チームとのリベンジマッチとなった。初回、先頭打者にホームランを打たれていきなり1点を失うが、センター相澤選手、サード宇田川選手の好守備もあり、後続を断つ。その裏、フィールダーズのトップバッター相澤選手も負けじと先頭打者ホームランを放ち、すぐさま同点に追いつくことに成功。さらに2番奥原選手(松本営業)、3番増子選手(新潟営業)が連打でチャンスを作り、4番木藤選手のタイムリーで1点を勝ち越す。しかし、この試合が3連投目となる大日方選手が、2回の表に本久打線に捉えられ、連打を浴びて8失点を喫してしまう。本久チームは打撃もさることながら、隙の無い積極的な走塁でチャンスを拡大し、反対にフィールダーズは内外野の連携プレーでミスが続いてしまい、勢いを止めることが出来なかった。裏の攻撃でチャンスを作りながら無得点に終わると、さらに3回表に6点を奪われ、チームに重苦しい雰囲気は漂う。

○Pick Up Player



◆切り込み隊長・相澤選手(左)と巧打・奥原選手(右)



◆勝ち越しタイムリー！主砲・木藤選手

○Pick Up Player



◆反撃の口火！久保田選手(左)・本間選手(右)



◆追撃の満塁弾！増子選手

3回裏、なんとか反撃の糸口を掴みたいフィールダーズは先頭の増子選手がヒットで出塁すると、宇田川選手、金原選手の連続タイムリーで2点を返し、さらにこの日初スタメンに入った高橋選手(長野工事部)もタイムリーで続き、力投の大日方選手に代わる代打の久保田選手(長野工事部)、相澤選手の連続タイムリーでこの回5得点と点差を詰めていく。しかし、続く4回表、急遽登板となった大場選手(松本営業)の制球が定まらず、四球とヒットなどで失点してしまう。リリーフした藤木選手(長野工事部)が後続をなんとか抑え、逆転を信じて最終回の攻撃に移る。本久チームもここでピッチャーが交代、あっという間に2アウトを取られてしまうが、反撃はここから。宇田川選手、丸山選手の連打でチャンスを作ると、本間選手が2点タイムリーを放って口火を切り、さらにここから高橋選手、藤木選手も続いて満塁のチャンスを作り、相澤選手が押し出しのフォアボール、奥原選手が執念のタイムリー内野安打と2点を追加。ここで打席には増子選手。鋭い一打は満塁ホームランとなり、これでこの回8得点とする。しかし、最後は頼みの木藤選手が惜しくも打ち取られ、昨年に続き本久チームに悔しい敗戦となった。

試合後には岩野社長の檄

~BREAK TIME~



北和会大会恒例のバーベキューで英気を養い、午後の3位決定戦へと臨みます。



☆球場風景☆



◆鋭いバッティングを見せる選手たち！左から小川選手、藤木選手、高橋選手、西澤選手



◆差し入れの草餅、美味しくいただきました！



◆チームOBの石巻さんからいただきました



◆社長、副社長を始め、大勢の方々に応援に駆け付けてくださいました。ありがとうございました！！



秋に向けて！ 春季最後の全体練習

北和会大会から約1か月後の6月20日土曜日、春季の活動の最後を締めくくる全体練習を松代自動車健保組合グラウンドにて行いました。今回は北和会大会でも審判長を務められた与田様にご協力いただき、ケースバッティングや内外野の守備連携の確認を行い、およそ3時間、みっちり練習を行いました。春は予定していた練習試合が雨で流れてしまうということもありましたが、この日は前日までの大雨がウソのように青空が広がり、充実した活動が行えたのではないかと思います。この経験を活かして、また秋口には練習試合等を行い、来年の北和会大会に向けてチーム力をさらにアップしていきたいと思ひます。どうぞ期待！

